



## ウイルス性肝炎検査チャート改訂のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、ウイルス性肝炎検査チャートにつきまして、掲載項目、紙面レイアウトの見直しを行い、次のように変更させていただくことになりましたのでお知らせ申し上げます。

事情をご賢察の上、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

変更実施日：平成26年10月7日（火）報告分より

#### 「ウイルス性肝炎検査チャート」改訂のポイント

##### ●掲載項目を変更いたします。

- ・新たに掲載する項目：HBV 遺伝子型/EIA、HCV 抗体（3rd）/CLIA
- ・掲載削除する項目：HCV 特異抗体価（RIBA-Ⅲ）

##### ●結果報告欄のレイアウトをより見易い形式に変更いたします。

- ・検査項目欄：横幅を広げ、項目名を大きく表示いたします。
- ・測定結果欄：単位の掲載位置を左上から右下に変更いたします。
- ・コメント欄：タテ型からヨコ型に変更し、結果報告欄の下に配置いたします。

##### ●裏面掲載情報を追加いたします。

- ・HA・HB（CLIA）、HCV（ラテックス凝集法）検査の判定基準を追加掲載いたします。

より正確に！

より迅速に！

地域に密着した検査体制 岐阜市医師会臨床検査センター

<従来 ウイルス性肝炎検査チャート>

### HCV群別のご報告について

HCVの群別はHCVグループ1抗体価及びHCVグループ2抗体価を測定します。  
結果は次のようにご報告致します。

グループ1	1グループ1のみ陽性の場合。 2グループ1及びグループ2高抗体価とも陽性であるが、グループ1抗体価がグループ2抗体価より2倍以上高い値を示す場合。
グループ2	1グループ2のみ陽性の場合。 2グループ1及びグループ2両抗体価とも陽性であるが、グループ2抗体価がグループ1抗体価より2倍以上高い値を示す場合。
保 留	グループ1及びグループ2両抗体価とも陽性であるが、高い方のグループの抗体価が低い方のグループの抗体価の2倍以上を示す場合。この場合はグループ1とグループ2の特異抗体は存在しますが、1か2の判別ができないことから、判定保留とさせていただきます。
不 検 出 (判定不能)	グループ1及びグループ2両抗体とも陰性の（検出できない）場合。但し、HCV-RNA（PCR法定性）が陽性であっても、グループ特異抗体は検出できないことがあります。

HCV抗体陰性者に本検査を実施した場合は保険点数は認められませんので、ご注意ください。  
また、HCV抗体陰性者に本検査を実施した場合、非特異反応によって誤ってHCV群別されることがございます。

<改訂後 ウイルス性肝炎検査チャート>

### ●HA・HB (CLIA)、HCV (ラテックス凝集法) 検査の判定基準

項目名	判定方法	陽性	判定保留	陽性
HBs抗原 CLIA	IU/mL	0.05未満		0.05以上
HBs抗体 CLIA	mIU/mL	10未満		10以上
HBs抗体 CLIA	S/CO	1.0未満		1.0以上
HBs抗体 CLIA	阻害率%	90.0未満		90.0以上
HBc抗体 CLIA	S/CO	1.00未満		1.00以上
HBc抗体 CLIA	S/CO	1.0未満		1.0以上
HA-IgM抗体	S/CO	1.00未満		1.00以上
HA-IgM抗体	S/CO	0.90未満	0.80-1.20	1.21以上
HCV抗体 (Index)	Unit	1.0未満		1.0以上

可変発症期間のない病期では、HA-IgMは陽性または判定保留、HCV抗体は陽性の場合があります。急性期が疑われ、陽性・判定保留の場合には毎日の再検査をおすすめします。

### ●HCV群別検査の判定基準

HCVの群別はHCVグループ1抗体価およびHCVグループ2抗体価を測定します。  
結果は次のようにご報告いたします。

一方のグループの抗体が陽性で、他方のグループが陰性の場合	GROUP1 または GROUP2
どちらのグループも陽性で抗体価が他方のグループの抗体価の2倍以上を示した場合、 あるいは抗体価のグループを報告します	
どちらのグループも陽性で抗体価の比較が2倍以上とならない場合、 どちらのグループが判定できない場合	判定保留
どちらのグループの抗体も陽性の場合	判定不能 不検出

HCV群別は、グループ分類に適合する領域の抗体を測定しますが、検出感度は十分ではありません。  
スクリーニング検査またはHCV-RNAが陽性でも本検査結果は不検出となる場合があります。